

北海道釧路養護学校
第3回学校運営協議会

令和2年度学校評価

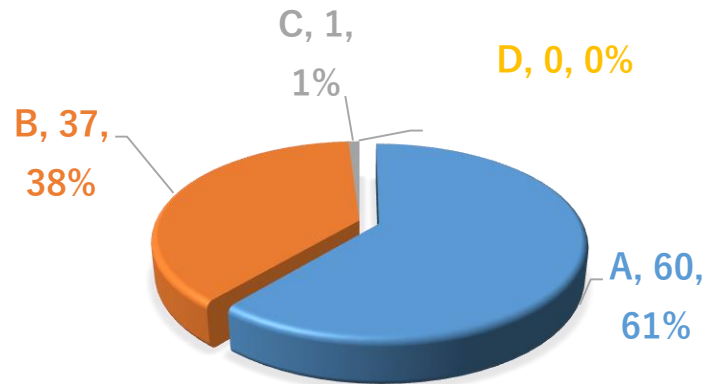
学校評価と学校経営

北海道釧路養護学校副校長 齋藤利文

設問の1 学び

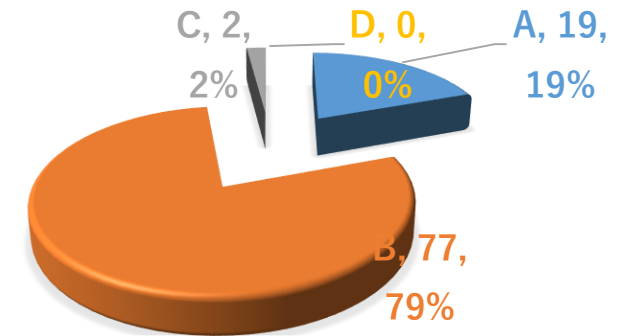
- ・よりの確な児童生徒理解のもとに、主体的・対話的で深い学びの視点を大切にした教育課程の改善・充実の継続。
- ・12年間を見通した切れ目のない学びの展開。（本校卒業後の将来を見据えたキャリア教育の推進）

保護者



□学習指導に関しては、一人一人の児童生徒に応じた個別の指導計画に基づいた学習指導を理解していただいている。

教職員



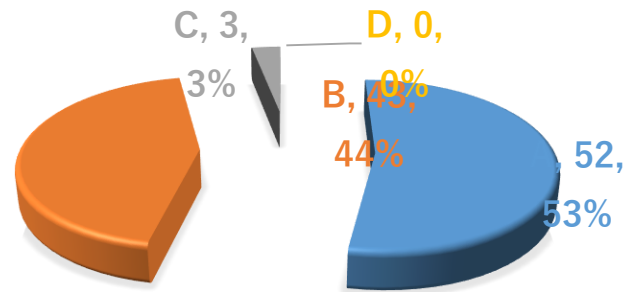
□新型コロナウイルス感染対策により、授業計画の見直しがあった。

□新型コロナウイルス感染症対策の中、当初の計画どおり、目標達成された授業になっていたか。

設問の2 学校生活（寄宿舎生活）

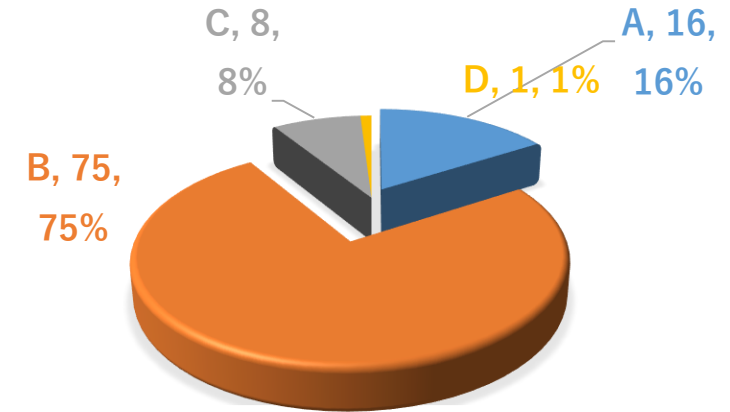
- ・ 基本的な生活習慣の確立、自主性と協調性の伸張等を図る指導を行う。
（卒業後の必要な力を育てるための集団的、個別的な指導の充実を図る。）

保護者



□教職員と思いや、考えを共有することができず、理解できていない。信頼関係の構築ができていない。

教職員



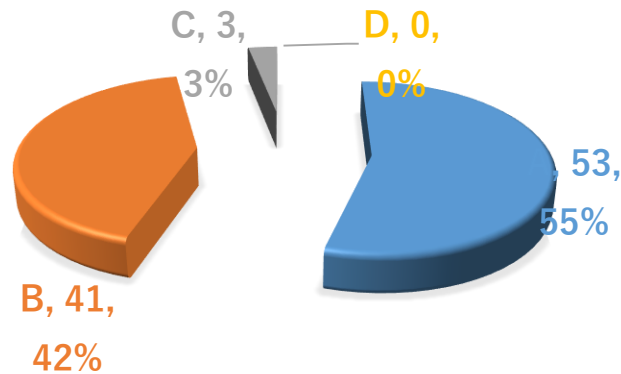
□学校と寄宿舎との連携や、指導の成果の共有ができていない。

安心・安全

設問の3 安全・安心な教育の充実（健康安全・予防・事故防止等）

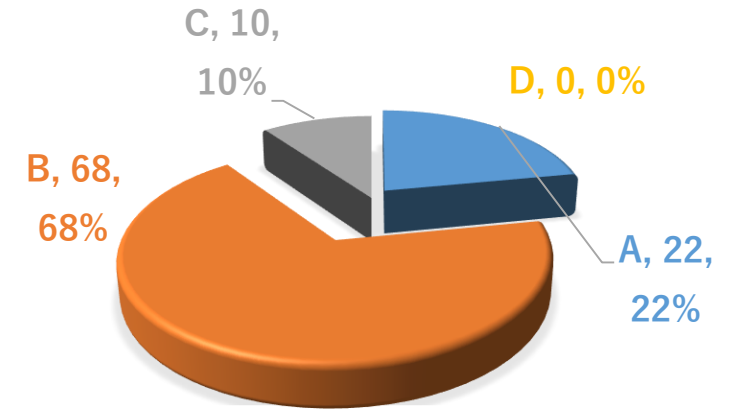
- ・関係機関と連携し、実践的な研修や、訓練の実施、対応マニュアルの活用を推進する。
（安全を意識し、緊急時に落ち着いて対応できる力が育っている。）

保護者



☐教職員が協力し合い、健康安全等の環境を整え指導していると思うが、やや不安が残る。

教職員



☐教職員一人一人は、担当している児童生徒の安全や安心を確保するために、予防・防止に努めている。

☐緊急時に適切な指導ができるのか、体制が整うのか不安が残る。

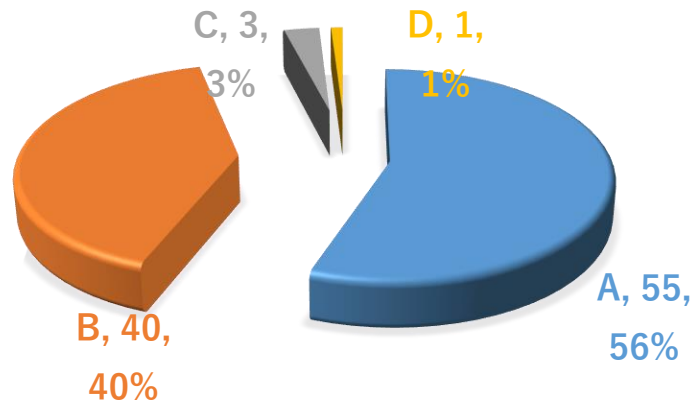
健康安全、予防、事故防止、緊急時の対応等の研修や、実践的な訓練の充実

教育/指導

設問の4・5・6・7・8 的確な児童生徒の理解に基づいた教育活動

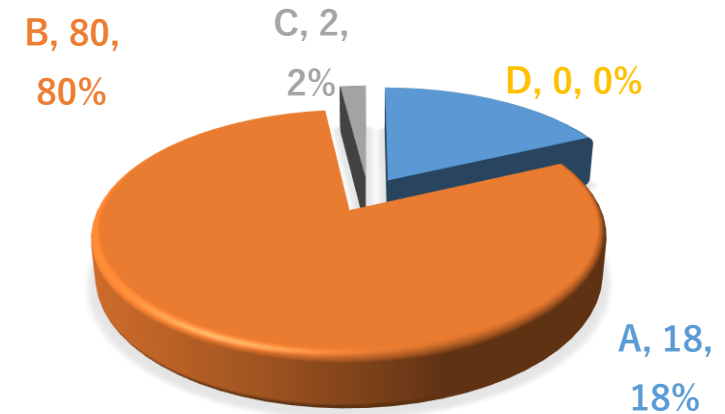
- ・ 児童生徒の発達段階や、特性を踏まえた授業

保護者



☐ 児童生徒を十分に理解して、先生方一人一人が教育を行っているのか、やや不安が残る。

教職員



☐ 児童生徒を十分に理解して教育活動を行っているが、発達段階に応じた指導と特性を踏まえた教育が充分に行われているか。

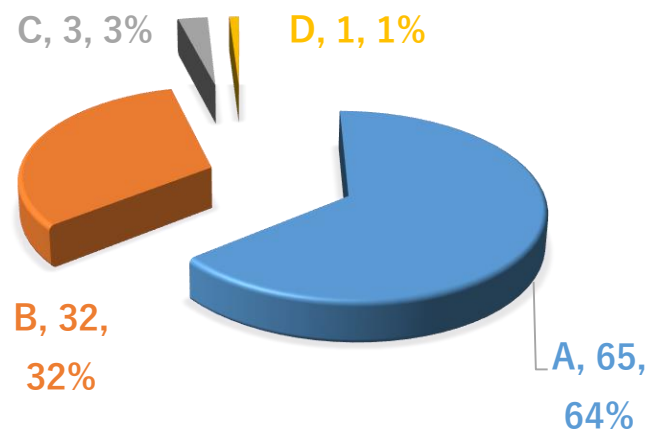
☐ 専門性の高い、指導力、授業力の向上の充実ができているのか。

発達段階に応じた学習指導と障がいの種類や、程度、特性を理解する研修の充実

設問の 9・10 個別の指導計画 個別の教育支援計画

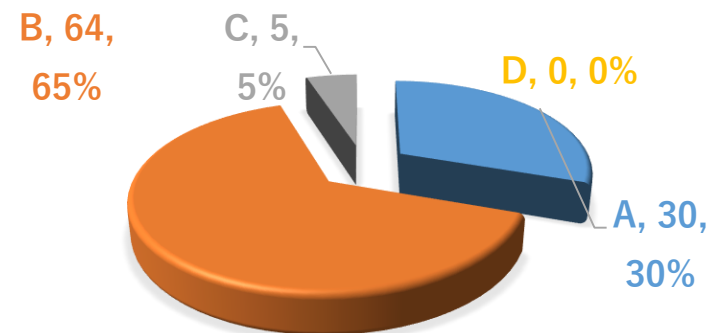
- ・説明責任を果たせる教育の実現
(エビデンスに基づいた説明を行い、保護者とともに共通理解を図りながら指導を行う。)
- ・より密接な関係機関との連携（福祉、医療、行政、教育）

保護者



☐ 個別の指導計画の説明に基づいた指導を行っている。

教職員



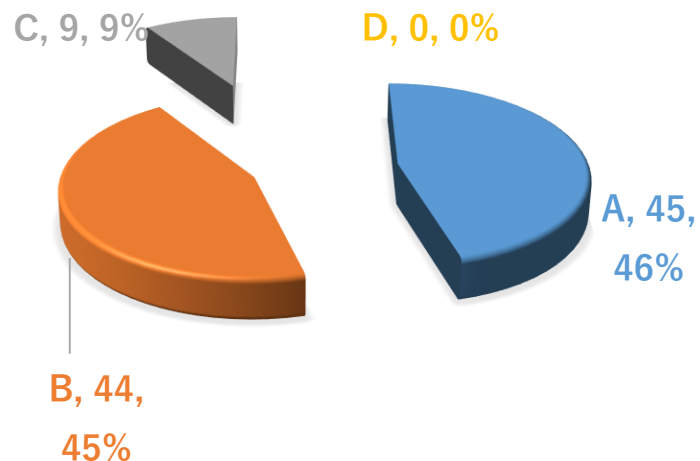
- ☐ 関係機関と連携した活用の充実が必要
- ☐ 保護者への十分な説明（目標、授業実践の経過、評価）

十分な説明と同意、保護者との共通理解を深めた授業計画の立案と関係機関との活用の充実

設問の11 将来の生活につながるのある教育課程の充実

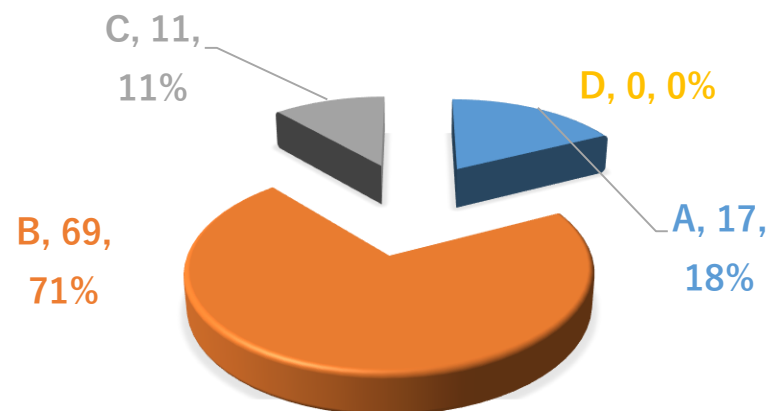
- ・切れ目のない学びの展開
＜適切な引き継ぎ＞

保護者



□引き継ぎがほぼ適切に行われているという反面、確認したことが、引き継ぎされていないことがある。（設問とは異なるが、学級費等の引き継ぎ等。）

教職員



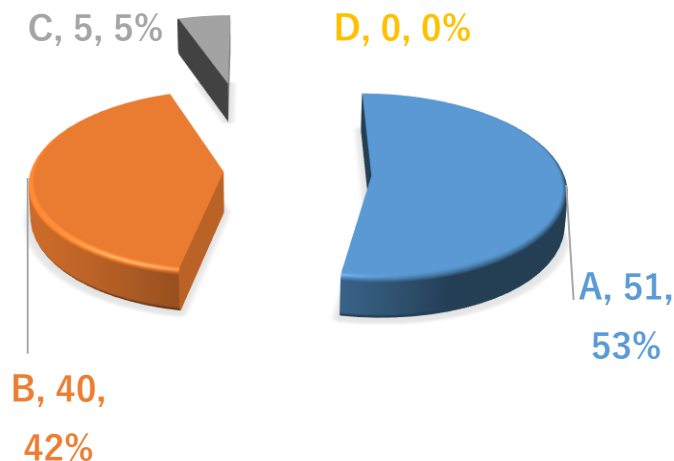
- 引き継ぎの時間が充分でない。
- 転勤者と転入者の引き継ぎができない。

開かれた学校

設問の12 保護者や地域への発信

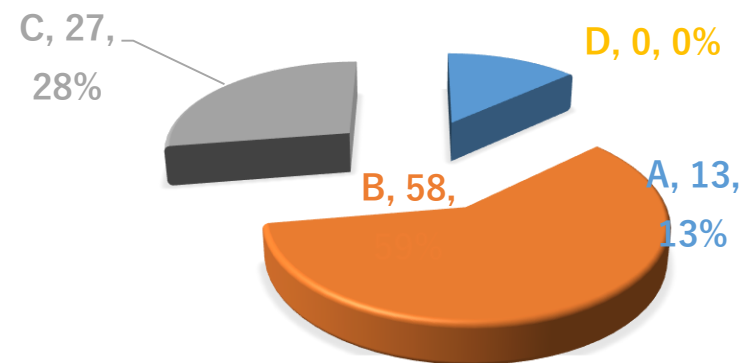
- ・保護者や、地域において、本校の教育に対する理解が広がり
- ・学校情報の継続的な発信と公開（HP、学校だより、学校公開等）

保護者



□保護者への学校情報の発信については、ほぼ適切に行われているが、地域に積極的に発信しているのかはよくわからないという回答もあった。

教職員



□参観日、授業公開、行事の中止で充分児童生徒の様子や、学校の教育活動が伝わっていない。

□通信や、連絡帳で補う努力はしたが、保護者は、不安を感じたと思う。

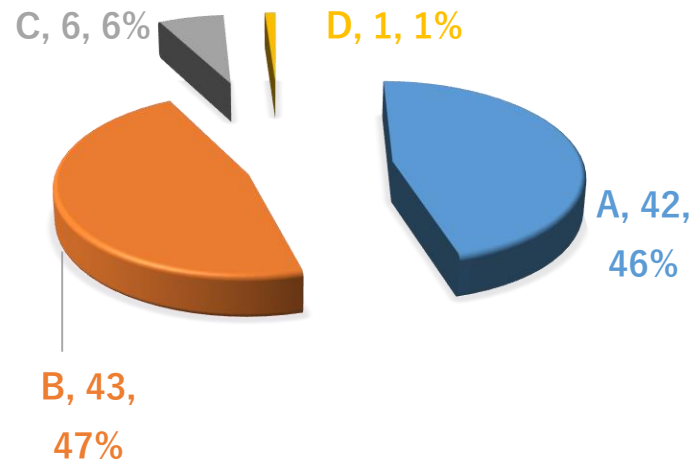
コロナウィルス感染対策をとりながら、保護者や、地域に本校の理解を伝える工夫が必要

開かれた学校

設問の13 支援会議等の充実

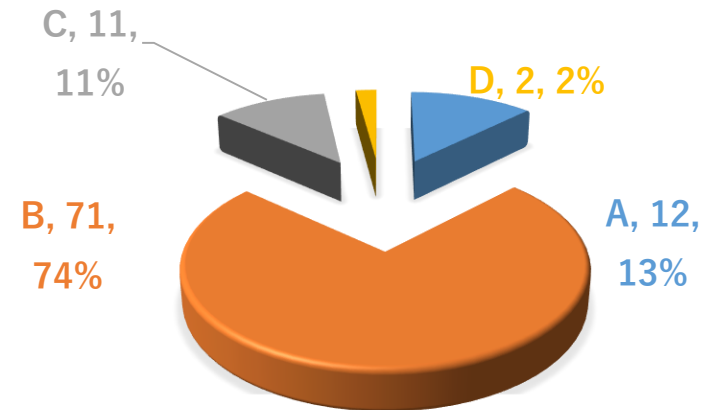
・連携の深まり、広がりにより、指導の充実を図る。（医療や、福祉等）

保護者



□医療や、福祉と連携した指導の充実がほぼ図られているという回答が多く見られた。

教職員

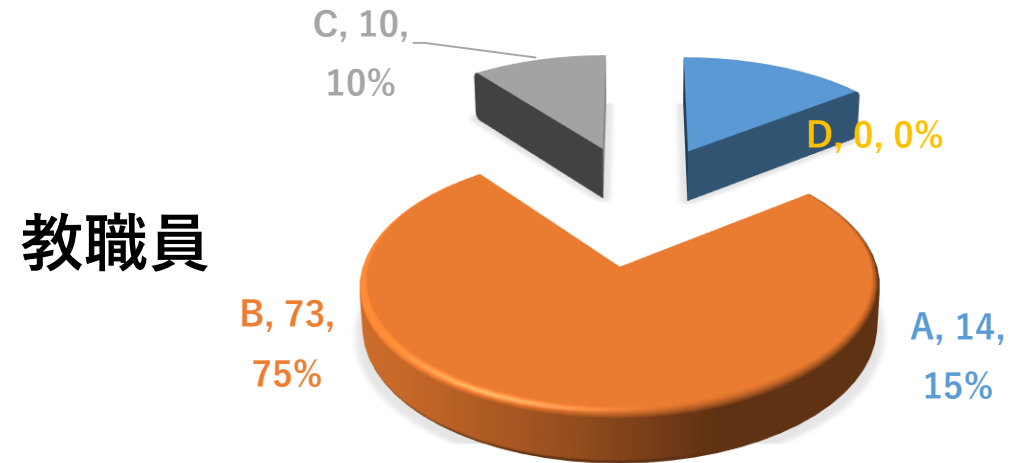
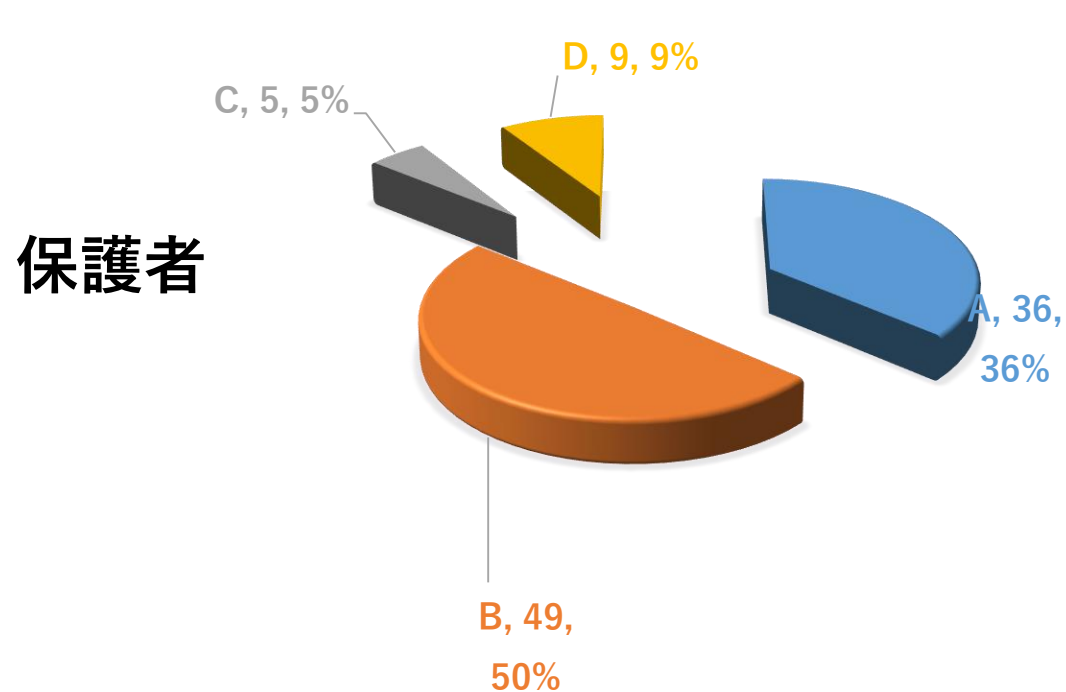


□医療、福祉と連携した指導を行っている。
□支援会議等出席したことがなく、実態がわからないという回答もある。

教職員間で支援会議等意義や、内容について情報共有するなど工夫が必要

開かれた学校

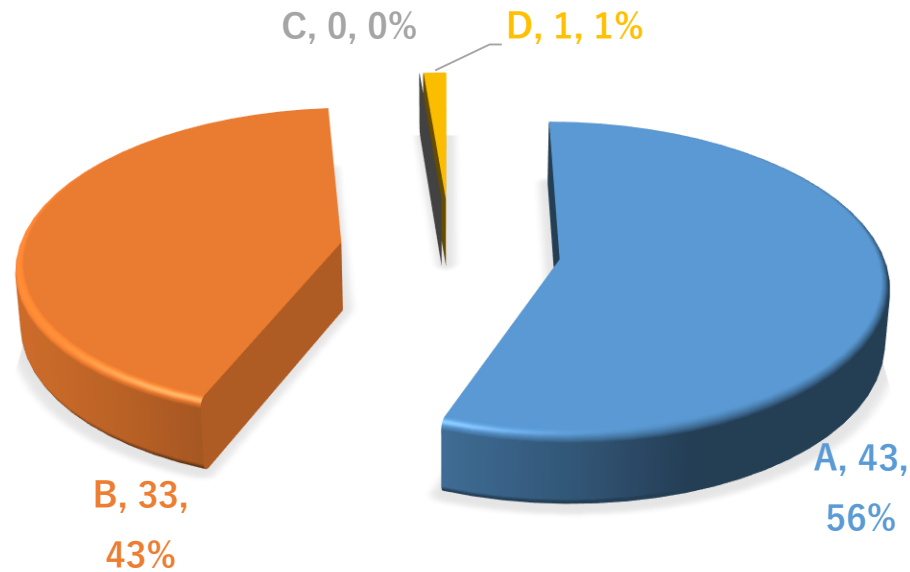
設問の14 学校評価



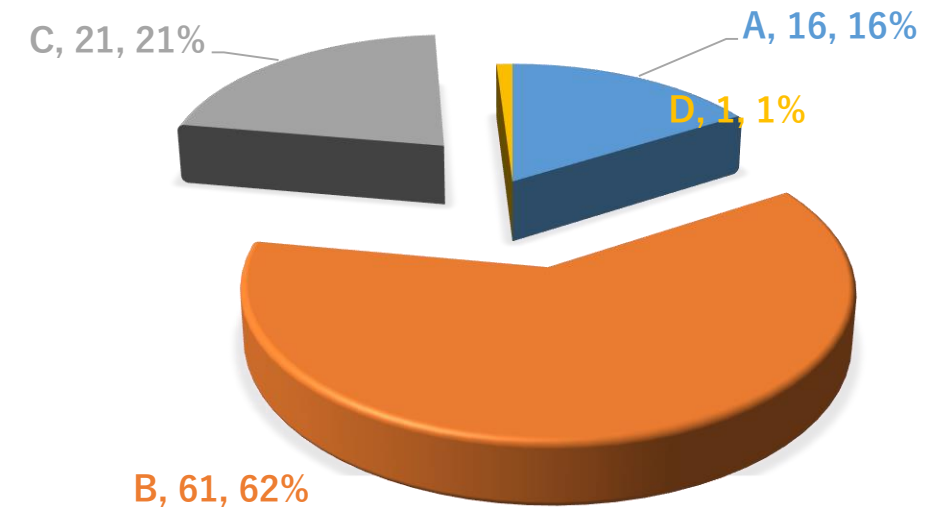
保護者への説明と学校評価を活かした学校運営、学校運営協議会での熟議

設問の15 連携（教職員）

保護者



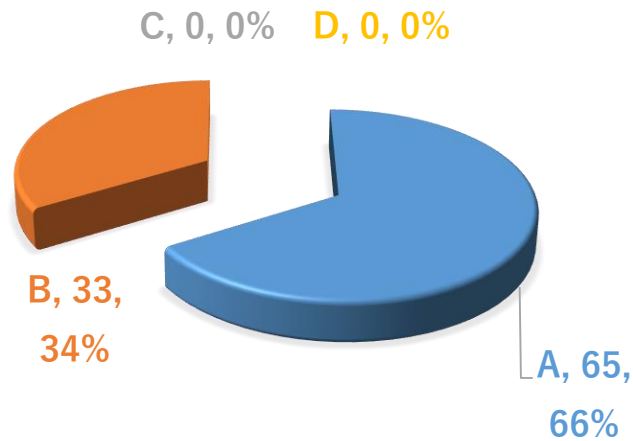
教職員



- ☐ 学級単位での連携が充実
- ☐ 人間関係重視、チームでという意識が低い
- ☐ 学年、学部間、分掌間の連携

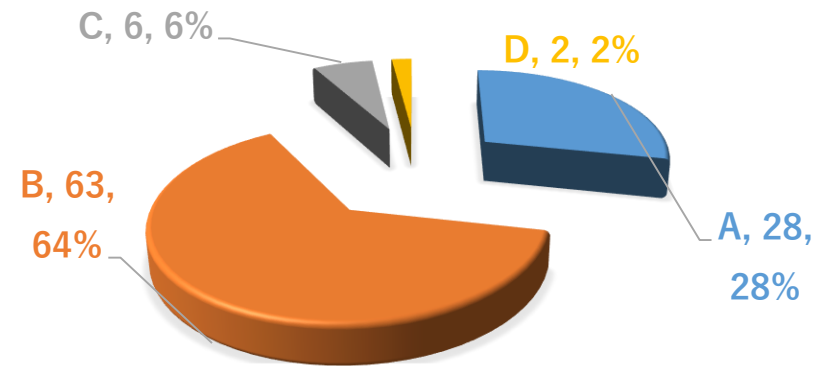
設問の16 学級費等の説明

保護者



☐ 学級費等の使いみちをほぼ保護者に説明できている。

教職員



☐ 予算計画、執行を適切に行っている。

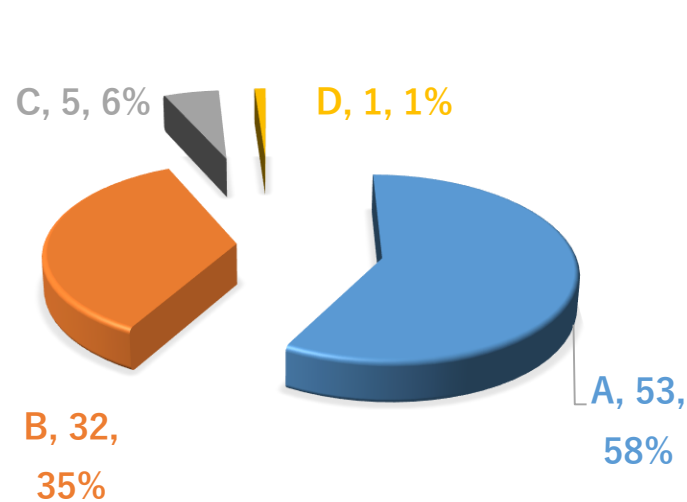
今後も予算計画、適正な執行、諸帳簿の管理と丁寧な保護者説明を継続して実施

開かれた学校

設問の17 保護者や、地域からの信頼

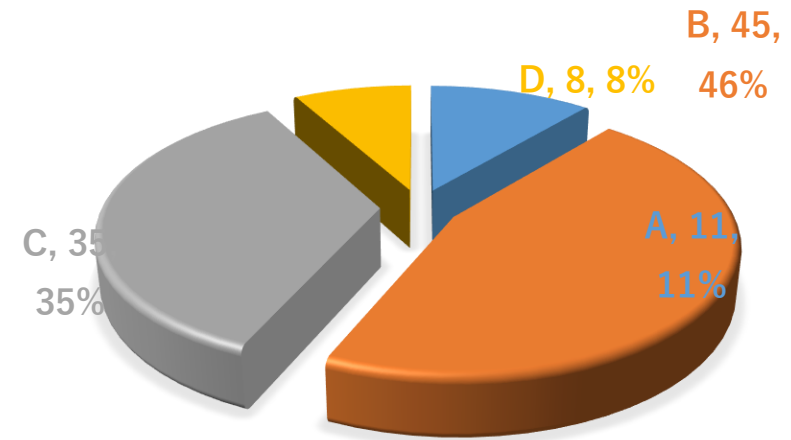
- ・教職員としての自覚と誇り

保護者



☐ 保護者に対して、ほぼ信頼を得ながら教育活動を行っている。

教職員



☐ 不祥事が続き保護者や地域から信頼を得ることが難しい。

☐ 服務規律についての研修を行ってきたが、不祥事が続いている。

研修方法を工夫することや、初任段階教諭や、期限付き等の教諭への研修の充実が必要